

土の乾燥を防ぎ、霜の害を防ぐ!!

(土壌表層の保護材)

マルチバーク

50ℓ入

商標登録・製法特許出願中

近年、茶園・果樹園・緑化植栽工事等のマルチング用稲ワラ不足や労働力の不足の現状であります。特に環境緑化は未熟な土壌や厳しい気象条件など極めて困難な要因が多くなっております。

マルチバークは健全な農業及び自然的緑化事業を成功させるため、土壌表層の管理であるマルチング工法の素材として樹皮（バーク）を粉碎製造されたマルチング材料です。

特製「斜面用」は流亡飛散を防ぐよう粘結剤を混合し、マルチ効果の安定と持続性を向上させてあります。

〔 マルチバークの効果 〕

1. 地温急変の抑制

- 保温効果が多く、活着とその後の成育を早め、霜害を防止する。

2. 土壌水分の保持

- 暖期の乾燥の防止力が強く、粗材繊維によって雨水の浸透が良い。

3. 雑草の発生をおさえる

- 地表面に直接日光があたらないので、雑草の発生が少ないため維持管理が楽。

4. 土壌構造の改善

- 土壌の温度と湿度を保ち、微生物が働き易いため団粒構造を助ける。



富士見工業株式会社 環境緑化事業本部

本 社 静岡市駿河区富士見台1丁目21番22号

TEL : 054-283-2990 FAX : 054-283-2969

支 店 札幌、青森、仙台、東京、金沢、大阪、岡山、
福岡、鹿児島

〔 斜面用マルチバークの特性 〕

- ① 〔 斜面用マルチバーク 〕は強風や降雨による飛散流注を防ぐように粘結剤を混合してありますので、平地・斜面ともに持続性が向上します。
- ② 斜面用は有機質リグニン系の粘剤とアスファルト乳剤を使用してあります。地表面でのマルチ材の安定性を高めるばかりでなく、暖季や雨期によくある虫の発生を抑制します。
- ③ 斜面用に混合されている粘剤のために散布後の色ムラが少なく、美観を高めると共に、表面硬化しても樹皮繊維の空隙より降雨散水による土壌への水分流入が妨げられることはありません。

使 用 法

地表に適量を平均に散布してから、平スコップ等で軽く叩いて填壓してバークの安定度を高めます。使用仕上り厚は散布厚より若干の敷厚の目減りがあります。

〔 マルチバークの施用量の例 〕

- ◎ 植栽地の地表面をすきまなく覆い、厚さは3cm～10cm程度を目安とする。

1 袋50ℓの散布面積

厚	面積
2cm	2.5㎡
3cm	1.67㎡
4cm	1.25㎡
5cm	1.0㎡

散 布 表

M ² 数	敷 厚	マルチバーク
M ²	2 cm (÷) 2.5㎡	袋
	3 cm (÷) 1.67㎡	
	4 cm (÷) 1.25㎡	
	5 cm (÷) 1.0㎡	

〈 マルチバーク使用の効果テスト 〉

大型プランターに土壌を充填して、マルチ3cmを散布してテストする。

ハウス内を20～25℃に保ち結果を調査したが、マルチ施用区は開始13日目でも殆んど水分の蒸散する変化をしなかった。マルチ無施用区は開始8日目より蒸散が極めて多い結果で推移し、すでに灌水を要す程になり、マルチバークの施用効果の大であることが確認された。

土壌水分の変動に及ぼすバークマルチの影響

